

令和6年実施 町政懇談会の記録（01防災）

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
大間	4月24日	01防災	一次避難所	指定避難場所は北伊予中学校だが、一次避難場所は集会所となっている。一次避難所の定義等を含めて、危機管理課に防災の講習会を依頼しているので、大間地区の方には是非参加してほしいと考えている。	危機管理課	一次避難所である集会所は、安否確認をして、まとまって指定避難所に移動するための集合場所のように捉えてほしい。 令和6年度大間地区での防災講座実施済み
大間	4月24日	01防災	指定避難所	大間から岡田校区の学校までは避難先としては距離がある。何かよい避難方法はないか。	危機管理課	大間の指定避難所は北伊予中学校である。防災訓練等で避難の訓練もされているので是非参加してみしてほしい。
大間	4月24日	01防災	指定避難所	白鶴保育所を指定避難所にできないか。	危機管理課	白鶴保育所を指定避難所にすると、大間や上高柳の人で溢れてしまう。災害時の白鶴保育所の活用方法については今後検討したい。
大溝	5月9日	01防災	災害時における食事の提供	災害時に通常食を食べられない方への食事の提供について準備はできているか。	危機管理課	まだ準備はできておらず、今後研究していくべき課題だと思う。 令和6年度補正予算（3月補正）で、町内の事業者が購入するキッチンカーに対し町が補助を行い、防災・減災対策の向上を図る。 なお、キッチンカーについては、避難所生活においては、温かい食事の提供をはじめ、高齢者へのきざみ食の提供や乳幼児への離乳食の提供、アレルギーのある方へのアレルギー対応食の提供等、安心できる食事提供の機会を確保する。
大溝	5月9日	01防災	避難所	現在の避難所で全避難者の受入が可能なのか。また、備蓄品をストックする場所として、空家を活用できるのでないか。	危機管理課	過去の災害の状況等から被害想定を出し、避難者数も想定した上で、必要な物資等を計画的に配備している。 避難所だけでは備蓄品のストックが困難であるため、避難所以外で備蓄品をストックできる適切な場所について研究しているところである。
上高柳	5月27日	01防災	白鶴保育所の避難所としての活用	昨年、白鶴保育所を一次避難所として利用することについて話をしたが、具体的な基準や運用方法は。また、避難所として利用するため、鍵の管理を地元の区長もできるようにお願いしたい。	危機管理課	避難所として利用する際の基準は定めていないので、緊急時等、必要と感じた場合に利用していただくのでよい。鍵の管理については検討したい。
上高柳	5月27日	01防災	白鶴保育所の設備	先日、落雷によって、この辺りが停電になったが、白鶴保育所だけは明かりがついていた。そのような設備があるということか。	福祉課	自家発電設備によるものと思われる。
上高柳	5月27日	01防災	白鶴保育所の避難所としての活用	白鶴保育所を指定避難所とできない理由は。	危機管理課	災害時には、その対応に従事することとなる自治体職員やインフラ、電気、通信関係の方の子ども達を受け入れる施設として必要であるため、今のところ指定避難所の指定は考えていない。しかし、一時避難所としての利用は可能であるので、緊急時等、必要な場合は利用してもらいたい。。
恵久美	6月3日	01防災	自主防災組織の強化	各地区の自主防災組織間での横の連携を強化するとともに、各自主防災組織のレベル向上のための取組をお願いしたい。	危機管理課	自主防災連合会を立ち上げて、総会と研修を実施しているが、自主防災組織のレベル向上のため、連携の強化ついて研究したい。 今年度（11/13、1/15）、指定避難所（岡田中学校）における各自主防災組織との連携について検討会を実施
恵久美	6月3日	01防災	防災に関する情報共有	防災講座等で使用できる情報源（素材）を作って共有してほしい。	危機管理課	危機管理課が防災講座を実施しているが、今後、それらで使用する素材について連携していきたい。
恵久美	6月3日	01防災	関係機関の連携	危機管理課、消防署、消防団は、災害時に連携して対応できるのか。	危機管理課	災害時には役場に災害対策本部を設置し、災害対策本部から各機関等に指示や連絡を行うことになる。また、毎年、水防訓練や防災訓練等の各種訓練を消防署、消防団、危機管理課が連携して実施しており、災害時に迅速かつ的確に各機関が連携できるよう努めている。
恵久美	6月3日	01防災	防災行政無線	防災行政無線が聞こえにくい。	危機管理課	場所を確認のうえ検討したい。 また、防災行政無線が聞こえなかった場合の対策として、電話で防災行政無線を開けたり、メールやLINEで情報が届くような仕組みを作っているので活用していただきたい。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
神崎	6月4日	01防災	防災無線	議会だよりによると、当初予算で防災無線の修理費用3か所分が計上されているようだが、具体的に修理箇所は決まっているのか。 神崎地区でも特定の地区で防災無線が聞き取りづらいという話が出ている。	危機管理課	3か所は決まっている。他からも多く要望があり順次対応しているが場所を教えてもらえれば持ち帰って検討する。 また、難聴対策として公式LINEを作ったため是非登録して活用してほしい。 申出のあった方に対し、区長が公式LINE等で確認できることを説明し、理解を得た。
神崎	6月4日	01防災	資機材	消火器の廃棄や資機材の更新について問い合わせたことがあるが回答がなかったので教えてほしい。。	危機管理課	来年度における資機材の更新等の補助について検討中である。 令和7年度当初予算で、自主防災組織が購入する防災備品の補助に係る予算を計上した。
神崎	6月4日	01防災	防災無線	防災無線ラジオの貸与はできないのか。	危機管理課	個別受信機のことだと思うが、各自主防災会の会長や学校に配布をしている。しかし、個別受信機は電源を入れっぱなしにする必要があり、かなりの音量のため必要のない情報も入って来ることから日頃音量を絞ってしまう事例が他市町であると聞いている。 今後要望が多く出るようなら検討する余地はあるかと思っている。 現在、テレビのdボタン、LINE等多重化を図っているので、まずは使い易いものを選んで使ってほしい。
塩屋	6月27日	01防災	排水機場	秋の台風時期に上流からの雨で工業団地の道路が約30cm程度冠水することがある。現在対策をしてもらっている排水機場の完成時期はいつ頃か。	まちづくり課	排水機場の建設は段階的に進めることとなっており、現在は遊水池の中の工事を実施しており、次の段階として土手を渡すための送水管を設置し、最終段階としてポンプを設置することになる。完成は令和8年3月の予定である。
中川原	7月1日	01防災	津波対策	津波が重信川を上って堤防が決壊した場合、山のない松前町ではどこに逃げるべきなのか。	危機管理課	南海トラフによる津波の遡上については、中川原地区まで到達しないと想定されているが、河川の氾濫については、南方面や高いところへ逃げる必要があり、台風や大雨時には早めの避難が必要となる。
東古泉	7月8日	01防災	長尾谷川の改良	大雨で長尾谷川の水位が上がれば、すぐに「洪水警報」が出る。氾濫抑止等のための対策を教えてください。	危機管理課 まちづくり課	長尾谷川は2級河川であり、県の管理となる。河川のハザードマップなど、ソフト面の作成はあるが、ハード面の整備について、現在の河川が「完成断面」であるため、今後、改良などの情報は聞いていない。河川が増水し、氾濫の危険がある場合は一番に避難することである。河川土手の不具合や危険箇所など、維持管理の観点でお気付きの点などあれば役場（まちづくり課）に連絡をされたい。
鶴吉	7月9日	01防災	長尾谷川の管理	長尾谷川について、5月の大雨で洪水警報が出た。県の管理になると思うが、堤体や河床のパトロールや危険個所の点検などはどのように行っているのか、適正に実施されているのか、近隣住民として不安である。知っていれば教えて欲しい。	まちづくり課	2級河川は県管理であり、点検は年1回、出水期前に行っていると思うが、県に確認の上、回答する。 県の河川砂防課に確認し、次の回答を得た。 ・松前町を流れている2級河川（大谷川、長尾谷川、神寄川、大井手川、国近川）について 1）通常の維持管理 ・水門、樋門点検：年1回 ・堤防点検：年1回 ・堤防除草：大谷川、国近川、長尾谷川は2年で全延長、その他は4年で全延長を除草。 2）大雨時の河川パトロール ・異常気象時に県職員及び年間維持業者がパトロールを実施。 3）長尾谷川について ・昭和34年から天井川の解消のため、河床を下げ、河積の拡大と河道曲折の是正により50年確率降雨に対応する河川整備をしている。
鶴吉	7月9日	01防災	道後平野水路	自宅周辺では過去数回、水路から水が溢れ、田んぼが浸水し、道路を超え宅地近くまで水がきたことがある。上流からの水を抑止したり、堰の管理を適切に行うように申し上げたい。	まちづくり課	該当の水路管理については、横田が管理する「南部排水の堰」を早めに倒す必要があると思う。その前段で、アクセス道路横の「鶴吉の管理する堰」も倒す必要がある。横田地区、鶴吉地区の水利関係者に伝える。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
鶴吉	7月9日	01防災	三軒屋の分水	三軒屋地区は水害に苦勞している。道後平野9号水路における、上野高瀬との3ト、2トの分水のルールを守るよう、松前町・伊予市の行政が中に入って調整してほしい。	まちづくり課	御指摘の点は昨年度も聞いており、伊予市へは話をし、今後、地域を交えた協議を行うように考えている。また、令和5年度は当該箇所の水路の一部を改良し、流下状況が改善できたと考えている。効果の検証も必要である。
宗意原	7月23日	01防災	津波のハザードマップ	友人が役場に津波に関する防災マップをもらいに行ったがなかった。年配者はデータより紙の方が見やすいので、紙で配ってほしい。	危機管理課	在庫について確認する。在庫がない場合は、データを印刷することができるので、危機管理課に問い合わせてもらいたい。 現在、総合防災マップ（津波編）の在庫がないので、来庁された方には、危機管理課で印刷してお渡しする。
本村・筒井	10月9日	01防災	防災無線	防災無線が聞こえにくいと、各戸にスピーカーを取り付けてほしい。県内で導入している自治体もあると聞く。インターネット等でなく、直接耳に入る方法がよい。	危機管理課	現在、電話で防災無線を聞く仕組や、インターネットやLINEで防災無線の情報を得る仕組があるが、直接耳に届く仕組について、他の自治体の導入事例を研究したい。
本村・筒井	10月9日	01防災	防災無線	防災無線の放送が1回では聞き取りにくいので、2回、3回と繰り返してほしい。	危機管理課	原則2回繰り返すようにはしている。聞こえなかった場合は、電話（089-961-7111）で防災無線の内容を聞くことができるので、活用してほしい。また、防災無線が聞こえるアプリがあり、文字や音声で確認できるようになっているので活用してほしい。
本村・筒井	10月9日	01防災	ハザードマップ	ハザードマップの新しいものを作成する予定は。	危機管理課	長尾谷と国近川のハザードマップを作成する予定である。
本村・筒井	10月9日	01防災	障がい者の避難	障がい者の災害時の避難について町の対策は。	福祉課	個別避難計画の作成に取り組んでおり、今後、大字や組内など地域の協力を得ながら更に進めていきたい。
横田	11月13日	01防災	防災行政無線	防災行政無線が聞こえにくいので、防災ラジオを配置してもらえないか。	危機管理課	防災行政無線が聞こえなかった場合の対策として、電話で防災行政無線を聞けたり、メールやLINEで情報が届くような仕組を作っている。高齢者への伝達手段としては防災ラジオ（戸別受信機）も有効かと思うので、対象者を絞って行えないかなど検討してみたい。 機器の更新の関係で、すぐに対応することは困難。